

伊佐市 校務DX計画

1 校務のデジタル化の推進

以下の視点で校務のデジタル化を推進する。

(1) 校務支援システム（See-Smile2）の活用

市教委と学校や、学校内でのデータの配布や提出に活用する。また、以下ア～ウにも活用する。

ア 学校日誌 ※行事、動静とリンク

イ 出退勤管理 ※集計機能活用

ウ 保健日誌

エ 市の様式の掲載

(2) スズキ校務の活用

成績管理から評価、指導要録や通知表作成、また、出席簿等とリンクさせながら統合的に校務を行う。

ア 指導要録（学籍は新一年生時に作成し印刷して、次年度からは手書きで追記）

イ 健康診断表（学校医の押印不要）

ウ 出席簿（作成者の押印不要）

エ 通知表

オ 各種名簿作成

(3) 教育クラウドサービス（まなびポケット）の活用

保護者との連絡に活用する。学校規模に応じて推進する。

(4) 給食日誌のデータ化

給食センターから各学校にへ送付した献立データを活用して作成する。

(5) 押印・FAXの廃止

各種申請書の押印やFAXでのやりとりを廃止し、校務支援システムSee-Smile2を活用してデータでのやり取りを推進する。ただし、緊急連絡やネットワーク不具合時、FAXの方が電子メールより効率的な場合を除く。

〈押印不要〉

講師派遣申請書、行事申請（管理規則確認）

(6) アンケートフォーム・オンライン会議の活用

2 ペーパーレス化の推進

以下の視点でペーパーレス化を推進する。

(1) データ共有

Googleドライブ、Onenote、MicrosoftTeams等のクラウドでのデータ共有の推進

(2) 閲覧

校務用端末等でのデータ閲覧によるペーパーレス化の推進

(3) 校内研修でのクラウド活用

校内研修においてもロイロノート等のクラウド利用をすることでペーパーレス化を推進する。

(4) 市主催研修会について

○ 研修会自体のオンライン実施の推進

○ 資料の事前データ配布、及び端末での閲覧の推進

3 ICT支援員との連携

MicrosoftTeamsにおいて校務のDX化を支援

4 教育用サーバーのクラウド化

各学校の教育用サーバーは現在学校においてあるが、今後ゼロトラストを目指して更新の際は、教育用サーバーもクラウド化していく。